

記 者 会 見
2 . 2 . 2 1
資 料 1

令和2年度（2020年度）当初予算案の概要 「ふるさと秦野」の魅力を磨き、未来へ飛躍する予算

I	市政に臨む基本的方針	p. 1
II	各会計の予算規模	p. 2
III	一般会計	p. 3
IV	企業会計及び特別会計	p. 7
V	令和2年度の主な事業	p. 8
1	災害に強いまちづくりを進める	p. 8
2	東京2020オリンピック・パラリンピックを体感する	p. 8
3	未来へつなぐ5つの重点事業	p. 9
4	総合計画後期基本計画に掲げた基本目標に沿った事業	p. 14



オープンに向けて着々と工事が進む「はだの丹沢クライミングパーク」

秦野市

I 市政に臨む基本の方針

令和の新たな時代を迎え、人口減少・少子・超高齢社会であることを踏まえて、全ての世代が安心できる社会保障制度の仕組みづくりを進め、持続可能な社会へ転換していくことが求められています。

まちづくりへの課題が複雑・多様化していく中で、時代の変化を捉え、魅力あふれる「ふるさと秦野」を次世代にしっかり引き継いでいきます。

まず、令和2年度の取組みとして、2つの特徴を挙げるができます。

一つ目は、「災害に強いまちづくりを進める」ことです。

昨年台風19号により、被災した道路や農地の復旧に努めるとともに、災害を未然に防ぐ対策として、被害が想定される箇所の改善や水路などの現況調査を行います。また、避難所環境の充実などを図ります。

二つ目は、「東京2020オリンピック・パラリンピックを体感する」ことです。

スポーツクライミングが体験できる施設「はだの丹沢クライミングパーク」を4月にオープンし、隣接する県の施設と一体でオープニング記念大会を開催します。また、オリンピック競技を観戦する機会を設けるほか、本市の平和の象徴である「平和の灯」をパラリンピックの聖火として送り出します。

そして、秦野の将来像を描く新総合計画の策定を見据え、これまで取り組んできた「未来へつなぐ5つの重点事業」をはじめとした、重要施策を着実に進めていきます。

〈未来へつなぐ5つの重点事業〉

- 1 地域医療の充実・強化 (p. 9)
- 2 中学校給食の完全実施 (p. 10)
- 3 教育水準の改善・向上 (p. 10~11)
- 4 小田急4駅周辺のにぎわい創造 (p. 11~12)
- 5 新東名・246バイパスの最大活用 (p. 12~13)

〈総合計画後期基本計画に掲げた基本目標〉

- 1 豊かな自然と調和した快適なまちづくり (p. 14)
- 2 地域で支えあい安心・安全に暮らせるまちづくり (p. 15~16)
- 3 産業活力を創造し多彩な魅力に出会えるまちづくり (p. 16~17)
- 4 豊かな感性をはぐくみ笑顔あふれるまちづくり (p. 17~18)
- 5 市民と行政が共に力をあわせて創るまちづくり

Ⅱ 各会計の予算規模

会 計 名	令和２年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	増 減	増減率 (%)
①一般会計	507 億 3000 万円	506 億 1000 万円	1 億 2000 万円	0.2
【企業会計】 ②水道事業会計	36 億 1100 万円	37 億 5900 万円	△1 億 4800 万円	△3.9
【企業会計】 ③公共下水道事業会計	55 億 2500 万円	59 億 8800 万円	△4 億 6300 万円	△7.7
④国民健康保険事業 特別会計	173 億 2400 万円	180 億 8200 万円	△7 億 5800 万円	△4.2
⑤介護保険事業 特別会計	126 億 6000 万円	123 億 8200 万円	2 億 7800 万円	2.2
⑥後期高齢者医療事業 特別会計	24 億 6500 万円	22 億 1600 万円	2 億 4900 万円	11.2
合 計	923 億 1500 万円	930 億 3700 万円	△7 億 2200 万円	△0.8
企業会計合計 (②、③)	91 億 3600 万円	97 億 4700 万円	△6 億 1100 万円	△6.3
特別会計合計 (④～⑥)	324 億 4900 万円	326 億 8000 万円	△2 億 3100 万円	△0.7

【過去５年の予算規模】

区 分	一般会計	企業会計	特別会計	合計
令和元年度	506 億 1000 万円	97 億 4700 万円	326 億 8000 万円	930 億 3700 万円
平成 30 年度	490 億 8000 万円	92 億 4400 万円	318 億 4500 万円	901 億 6900 万円
平成 29 年度	516 億 4000 万円	90 億 7700 万円	349 億 8000 万円	956 億 9700 万円
平成 28 年度	497 億 7000 万円	104 億 8023 万円	343 億 6000 万円	946 億 1023 万円
平成 27 年度	488 億 8000 万円	32 億 7900 万円	426 億円	947 億 5900 万円

(注 1) 下水道事業は、平成 27 年度は特別会計、28 年度から企業会計に計上

(注 2) 一般会計は過去 2 番目、合計では過去 5 番目の予算規模

過去最高は、いずれも平成 29 年度

Ⅲ 一般会計

1 予算規模

令和２年度は、「ふるさと秦野の魅力を磨き、未来へ飛躍する予算」として編成しました。

一般会計の当初予算額は、令和元年度当初予算に比べて１億２，０００万円増の５０７億３，０００万円とし、過去２番目の規模となりました。

2 歳入

(1) 市税

市税全体では、令和元年度当初予算に比べて、１億９，０００万円減の２２９億１，０００万円となりました。市税の減収は２年ぶりです。

減額の要因は、法人市民税を税制改正による法人市民税率の引き下げの影響などにより、２億９，１１０万円の減を見込んだことによります。

一方、固定資産税は、土地評価額の下落は続くものの、家屋の新增築と企業の新規設備投資の増加により６，２５０万円の増を見込みました。また、市たばこ税は、健康志向の高まりや公共施設等の禁煙、分煙化により喫煙機会が減少しているものの、税率の引き上げにより、２，９００万円の増を見込みました。

【市税の状況】

区 分	令和２年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	増 減	増減率 (%)
個人市民税	92 億 1710 万円	92 億 1330 万円	380 万円	0.0
法人市民税	10 億 7400 万円	13 億 6510 万円	△2 億 9110 万円	△21.3
固定資産税	96 億 9500 万円	96 億 3250 万円	6250 万円	0.6
市たばこ税	9 億 8300 万円	9 億 5400 万円	2900 万円	3.0
都市計画税	16 億 2110 万円	16 億 2880 万円	△770 万円	△0.5
そ の 他	3 億 1980 万円	3 億 630 万円	1350 万円	4.4
合 計	229 億 1000 万円	231 億円	△1 億 9000 万円	△0.8

(注) 予算額は、現年課税分と滞納繰越分の合算額です。

【過去5年の市税予算額】

年度	当初予算額	増 減	増減率 (%)
平成31年度	231億円	3億8000万円	1.7
平成30年度	227億2000万円	△3億円	△1.3
平成29年度	230億2000万円	△2億円	△0.9
平成28年度	232億2000万円	0円	0.0
平成27年度	232億2000万円	△1億円	△0.4
平成20年度	258億2900万円	(過去最大予算)	

(2) 市税以外

税収不足を補填する普通交付税は29億4,000万円、24.6パーセントの増を見込み、普通交付税の代替財源である臨時財政対策債は、令和元年度当初予算と同額の21億円としました。

市債発行額は、プライマリーバランスの赤字解消に向けて、28.9パーセント減の32億1,700万円としました。

財政調整基金は、今後の財政需要や不測の事態に対応できる残高を確保したうえで、財源補填のために6億500万円を取り崩します。

【市税以外の状況】

区 分	令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	増 減	増減率 (%)
普通交付税	29億4000万円	23億6000万円	5億8000万円	24.6
市債発行額	32億1700万円	45億2580万円	△13億880万円	△28.9
うち臨時財政対策債	21億円	21億円	0円	0.0
財政調整基金取崩し額	6億500万円	0万円	6億500万円	皆増

【市債及び財政調整基金の残高見込み】

区 分	令和2年度末 残高見込み	令和元年度末 残高見込み	増 減	増減率 (%)
市 債	359億9851万円	359億9947万円	△96万円	△0.0
うち臨時財政対策債	228億8196万円	225億6444万円	3億1752万円	1.4
財政調整基金	30億4566万円	32億4054万円	△1億9488万円	△6.0

3 歳出

義務的経費は、会計年度任用職員制度の導入、障害児・者へのサービス体制の充実、市債残高の増加などにより、人件費、扶助費、公債費のいずれも増額となりました。

投資的経費（普通建設事業費）は、西分署の建替えや文化会館設備の改修などが完了したほか、小中学校の施設改修事業を令和元年度補正予算として前倒ししたことから、前年度当初予算に比べ11.9パーセントの減となりました。

2年度は、西中学校体育館多機能型施設がオープンするほか、東海大学前駅北口周辺の整備など、都市基盤整備を着実に進めていきます。主な普通建設事業費は、次のとおりです。

- (1) 西中学校体育館等施設整備事業費（＋1億444万円）
- (2) 国庫関連歩道設置事業費（＋3129万円）
- (3) 秦野駅南部（今泉）土地区画整理事業費（＋1125万円）

【款別経費比較表】

款	令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	増 減	増減率 (%)
1 議会費	3億5145万2000円	3億4903万4000円	241万8000円	0.7
2 総務費	52億7659万円	51億4961万9000円	1億2697万1000円	2.5
3 民生費	238億5518万3000円	241億1656万9000円	△2億6138万6000円	△1.1
4 衛生費	40億5054万2000円	37億4466万2000円	3億588万円	8.2
5 農林費	4億6926万1000円	4億4870万4000円	2055万7000円	4.6
6 商工費	11億3666万7000円	10億2999万8000円	1億666万9000円	10.4
7 土木費	59億6523万8000円	59億761万7000円	5762万1000円	1.0
8 消防費	22億1738万3000円	23億8254万5000円	△1億6516万2000円	△6.9
9 教育費	39億5845万3000円	41億9871万3000円	△2億4026万円	△5.7
10 公債費	33億4923万1000円	32億3253万9000円	1億1669万2000円	3.6
11 予備費	1億円	5000万円	5000万円	100.0
合 計	507億3000万円	506億1000万円	1億2000万円	0.2

【性質別経費比較表】

区 分		令和2年度当初予算 (構成比)	令和元年度当初予算 (構成比)	増 減 (増減率)
義務的経費	人件費	100億7984万2000円 (19.9%)	93億2140万5000円 (18.4%)	7億5843万7000円 (8.1%)
	扶助費	149億3586万3000円 (29.4%)	147億9706万5000円 (29.2%)	1億3879万8000円 (0.9%)
	公債費	33億4923万1000円 (6.6%)	32億3253万9000円 (6.4%)	1億1669万2000円 (3.6%)
	計	283億6493万6000円 (55.9%)	273億5100万9000円 (54.0%)	10億1392万7000円 (3.7%)
経 費	投資的 普通建設 事業費	41億5912万6000円 (8.2%)	47億2223万3000円 (9.3%)	△5億6310万7000円 (△11.9%)
その他の経費	物件費	66億2782万8000円 (13.1%)	66億5866万6000円 (13.2%)	△3083万8000円 (△0.5%)
	維持補修費	4億2106万6000円 (0.8%)	3億6602万5000円 (0.7%)	5504万1000円 (15.0%)
	補助費等	48億4015万2000円 (9.5%)	51億45万7000円 (10.1%)	△2億6030万5000円 (△5.1%)
	積立金	3億7460万8000円 (0.7%)	1億8551万6000円 (0.4%)	1億8909万2000円 (101.9%)
	貸付金	3億4200万円 (0.7%)	3億7900万円 (0.7%)	△3700万円 (△9.8%)
	繰出金	55億28万4000円 (10.9%)	57億9709万4000円 (11.5%)	△2億9681万円 (△5.1%)
	予備費	1億円 (0.2%)	5000万円 (0.1%)	5000万円 (100.0%)
	計	182億593万8000円 (35.9%)	185億3675万8000円 (36.7%)	△3億3082万円 (△1.8%)
合 計		507億3000万円 (100.0%)	506億1000万円 (100.0%)	1億2000万円 (0.2%)

(参考) 【人口と世帯から】

	人口総数	世帯数	《参考》住民基本台帳
令和2年2月1日現在	164,832人 (前年同月比△491)	72,263世帯 (前年同月比+764)	161,064人 73,267世帯
平成22年9月1日現在 (ピーク時)	170,417人	70,342世帯	162,246人 66,700世帯

IV 企業会計及び特別会計

1 企業会計

(1) 水道事業会計

給水収益は、水需要の減少により減額が見込まれます。費用面では、経費の削減に努めるとともに、前期最終年度を迎える水道事業計画に基づき、水道施設の更新と耐震化を着実に進めていきますが、新東名高速道路の秦野サービスエリア（仮称）へ配水する堀山下高区配水場整備事業が概ね完了したため、予算規模は、令和元年度当初予算に比べて3.9パーセントの減額となりました。

(2) 公共下水道事業会計

下水道使用料収益は、水需要の減少により減額が見込まれます。費用面では、前期最終年度を迎える公共下水道事業計画に基づき、下水道施設の計画的な整備と雨水の浸水対策を着実に進めていきますが、大根第10雨水幹線整備工事が概ね完了したため、予算規模は、令和元年度当初予算に比べて7.7%の減額となりました。

2 特別会計

(1) 国民健康保険事業特別会計

高齢化の進行や医療の高度化等により1人当たりの保険給付費が増加する一方で、被保険者数が減少することから、予算額は、令和元年度当初予算に比べて4.2%の減額となりました。

また、保険給付費の増加などによる財源不足が見込まれることから、国民健康保険税の税率を引き上げます。

(2) 介護保険事業特別会計

要介護認定者数及びサービス利用者数の増加により、保険給付費が増加することから、予算額は、元年度当初予算に比べて2.2%の増額となりました。

(3) 後期高齢者医療事業特別会計

被保険者数の増加に伴い、後期高齢者医療広域連合納付金が増額となったため、予算額は、令和元年度当初予算に比べて11.2%の増額となりました。

V 令和2年度の主な事業（★は新規事業、☆は拡充事業）

1 災害に強いまちづくりを進める

（建設管理課、建設総務課、農業振興課、財産管理課、防災課、公園課、
上下水道局

事業費：3億5026万円 うち元年度補正1億9289万円、2年度予算1億5737万円）

（単位：千円）

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
市道・農地の災害復旧 【元年度補正】 192,888	78,140	24,396	42,400	分担金 297	47,655
本庁舎自家発電燃料タンク の増設 23,500			23,500		
防災マップの作成 8,415	2,103	2,104		広告代 100	4,108
道路、水路、公園の調査・ 改善等 25,074					25,074
災害用給水拠点の整備 【企業会計】 30,500			10,600		19,900
その他委託、工事等 69,880	6,000		40,100		23,780
計 350,257	86,243	26,500	116,600	397	120,517

2 東京2020オリンピック・パラリンピックを体感する

（スポーツ推進課、教育指導課 事業費：617万円）

（単位：千円）

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
はだの丹沢クライミング パークのオープニング記 念大会の開催 1,000					1,000
観戦ツアー等の実施 3,252		798		参加者負担金 1,536	918
パラリンピック聖火フェ スティバルの開催 450					450
その他 1,465					1,465
計 6,167		798		1,536	3,833

3 未来へつなぐ5つの重点事業

(1) 地域医療の充実・強化

ア 派遣型救急ワークステーションの開設 ★

(警防対策課 事業費：33万円)

本年4月に秦野赤十字病院との共同による「派遣型救急ワークステーション」を開設し、医療の早期介入による救命率の向上及び後遺症の軽減を図ります。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
331					331

イ 妊娠・出産包括支援体制の充実 ★

(こども家庭支援課 事業費：736万円)

妊娠から子育ての切れ目のない支援として、産後うつ予防と早期対応を図るため、産婦健康診査の費用の助成により、医療機関との連携を強化することで、産後ケア事業を充実させます。また、新生児聴覚検査の費用を助成し、難聴の早期に発見に努めます。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
産婦健康診査と新生児聴覚検査の支援 6,581	2,073				4,508
直営産後ケアの継続 780	378			諸収入 23	379
計 7,361	2,451			23	4,887

ウ 健康で暮らせる環境づくりの推進 ☆

(健康づくり課 事業費：518万円)

健診結果に基づき、疾病の重症化予防や介護予防など、市民一人ひとりにあわせた健康づくりを支援するため、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に取り組みます。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,182					5,182

(2) 中学校給食の完全実施

ア 学校給食センター（仮称）の整備

（学校教育課 事業費：3146 万円）

令和3年12月から、「安全・安心でおいしい、生徒が喜ぶ中学校給食」を実現するため、昨年12月に基本協定を締結した企業グループによる、公民連携型の「学校給食センター（仮称）」の建設を着実に進めます。

（単位：千円）

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
31,460					31,460

イ 学校施設（エレベーター）の整備等

（学校教育課

事業費：3億6752万円うち元年度補正3億4790万円、2年度予算1962万円）

各中学校へ給食などのコンテナを配送するエレベーターを設置します。また、成長期の子どもたちにふさわしい献立づくりや、地産地消の推進による地域に根差した食育などを検討します。

（単位：千円）

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
エレベーターの設置 【元年度補正】347,900	27,979		239,700		80,221
エレベーターの設計 19,347					19,347
中学校完全給食推進懇話 会の開催 274					274
計 367,521	27,979		239,700		99,842

※エレベーターの設置：北・渋沢・南が丘・鶴巻の各中学校

エレベーターの設計：南・東・大根・西の各中学校（設置は、令和3年度）

(3) 教育水準の改善・向上

ア 学力向上の推進

（教育指導課 事業費：378万円）

児童や生徒の学力向上に向け、令和元年度から行っている家庭学習ノートの作成や、民間企業と連携した放課後の学習支援に引き続き、取り組めます。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
家庭学習ノートの作成 796				諸収入 796	
放課後学習支援の継続 2,984				ふるさと基金 2,984	
計 3,780				3,780	

イ 教職員の意識改革・人材育成 ★

(教育指導課 事業費：520万円)

教職員の意識改革や人材育成のため、新たに公民連携による授業力向上プロジェクトに取り組むとともに、教育支援アドバイザーを招き、教育水準の改善や向上につなげます。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
授業力向上プロジェクト の実施 4,000					4,000
教育支援アドバイザーの 導入 1,200					1,200
計 5,200					5,200

(4) 小田急4駅周辺のにぎわい創造

ア 安全で楽しい「まち歩き」ができる仕掛けづくり ☆

(建設総務課、生涯学習課、観光振興課、上下水道局、道路整備課、産業振興課、
事業費：1億4582万円)

4駅それぞれの地域資源や特色を生かした、「まち歩き」の仕掛けづくりに取り組むとともに、活力ある経済活動を促進します。

特に、秦野駅周辺においては、自然や文化財に親しむこともあわせて、商業の活性化を図ります。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
県道705号拡幅整備に係る 県への協力・支援 63,367					63,367

秦野駅周辺の近代建築物 の国登録有形文化財への 登録 800					800
震生湖散策路の整備 10,665		1,707			8,958
曾屋水道公園の改修 【企業会計】 2,470					2,470
東海大学前駅北口エレベ ーター等の設置(令和3 年度完成予定) 53,000	17,050		26,800		9,150
商店街の魅力向上の支援 15,517					15,517
計 145,819	17,050	1,707	26,800		100,262

イ 鶴巻温泉駅周辺の活性化 ☆

(観光振興課 事業費：598 万円)

大山と駅を結ぶバスルートの運行期間を拡大するとともに、「はだのふるさと大使」の吉田栄作さんによる車内音声案内により誘客を図り、名湯を生かしたにぎわいづくりを進めます。また、いつでもどこでも名湯を楽しめるよう、「つるまき千の湯」の入浴剤を製作します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,981		620		諸収入等 810	4,551

(5) 新東名・246バイパスの最大活用

ア 産業利用促進ゾーンへの企業誘致の推進

(道路整備課、まちづくり計画課、都市整備課 事業費：1 億 1182 万円)

新東名高速道路の開通効果を生かした産業振興を図るため、「秦野サービスエリア（仮称）スマートインターチェンジ」の周辺道路の整備を進めます。

戸川地区の土地区画整理準備組合へ技術支援を行い、土地区画整理組合の早期設立を目指します。あわせて、新たな雇用創出に向け、本市の特性を生かした企業誘致を進めます。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
アクセス道路等の整備 108,000	38,500		28,300		41,200

区画整理事業の技術支援 1, 268					1, 268
市街化編入に向けた準備 2, 555					2, 555
計 111, 823	38, 500		28, 300		45, 023

イ 表丹沢の魅力向上 ☆

(総合政策課、スポーツ振興課、環境共生課、観光振興課
事業費：1億5668万円)

表丹沢の様々な資源を結びつけ、交流人口の増加と地域活性化につなげる、「表丹沢魅力づくり構想（仮称）」を策定するとともに、地域資源を生かした様々な取組みを展開します。

「はだの丹沢クライミングパーク」を中心に、体験教室や各種競技会を通じて普及振興を図ります。また、森林セラピー事業では、5つのセラピーロードで体験プログラムを実施します。そして、東の玄関口のヤビツ峠には交流拠点施設を、西の玄関口の大倉高原周辺では新たにハイキングコースを整備します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
表丹沢魅力づくり構想（仮称）の策定 14, 941		3, 512			11, 429
スポーツクライミングの普及振興 31, 800		892		使用料等 25, 636	5, 272
森林セラピーロードの環境整備、体験プログラムの実施 5, 921	1, 083	796		財産区繰入金 2, 400	1, 642
ヤビツ峠の交流拠点の整備 86, 305	43, 152	6, 162		ふるさと基金等 36, 991	
大倉高原周辺のハイキングコース等の整備 17, 711				ふるさと基金 17, 711	
計 156, 678	44, 235	11, 362		82, 738	18, 343

4 総合計画後期基本計画に掲げた基本目標に沿った事業

(1) 豊かな自然と調和した快適なまちづくり

ア 再生可能エネルギーの導入への取組み

(環境共生課 事業費：1000 万円)

「秦野市再生可能エネルギーに関する基本指針」に基づき、重点プロジェクト「木質バイオマス」の活用について導入可能性を調査します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9, 999				諸収入 9, 999	

イ ごみの減量、資源化への取組みの拡充 ★

(環境資源対策課 事業費：255 万円)

令和 7 年度末のはだのクリーンセンター 1 施設によるごみ処理体制に向けて、事業者の適正な排出を強化するため、全事業所への訪問調査や模範となる優良事業者に対する認定制度を創設します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2, 548					2, 548

ウ 公園などの安全性や利便性の向上

(公園課 事業費：3098 万円)

おおね公園のスケーティング場や遊具の改修や、総合体育館の中央監視装置の更新などを行い、利用者の安全性や利便性を向上します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
おおね公園の施設改修 9, 508				ふるさと基金 9, 508	
総合体育館中央監視装置 の更新 21, 475				ふるさと基金 21, 475	
計 30, 983				30, 983	

(2) 地域で支えあい安心・安全に暮らせるまちづくり

ア 保育環境の向上 ☆

(保育こども園課 事業費：1053万円)

公立こども園の教育・保育活動の充実と質の向上を図るため、老朽化した施設を改修するとともに、ひろはたこども園とみどりこども園の低年齢児の利用定員を拡大します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,530				ふるさと基金 10,530	

イ 放課後児童ホームと放課後こども教室の一体的な取組み ☆

(こども育成課 事業費：848万円)

全ての児童が放課後を安全に過ごし、多様な体験や活動を行うことができるよう、放課後児童ホームと放課後子ども教室の一体的な運用を広畑小学校で試行し、全市での導入に向けた検証を行います。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,482					8,482

ウ 地域共生支援センターの設置 ☆

(地域共生推進課 事業費：なし)

「地域共生社会の実現に向けた基本方針」に基づき、市民一人ひとりが互いに尊重され、共に支えあい、住み慣れた地域で心豊かな暮らしができるよう、「地域共生支援センター」を設置します。

エ 生活困窮者への支援 ☆

(生活援護課 事業費：5462万円)

生活困窮者の自立支援事業に、新たに就労や家計改善の支援を加え、一体的に行うとともに、生活保護受給者の医療・検診データを分析し、生活習慣病の発症予防や重症化予防を推進します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
生活困窮者の支援 52,516	35,672				16,844

生活保護受給者の健康管理の支援	2, 103	1, 193			910
計	54, 619	36, 865			17, 754

オ 新東名の開通を見据えた消防体制の強化 ☆

(警防対策課 事業費：8340万円)

新東名高速道路の開通を見据え、昨年7月にリニューアルした消防署西分署に化学ポンプ自動車を配備し、救急隊の2隊運用を開始することで、消防体制を強化します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
83, 396	18, 955	12, 222	46, 900		5, 319

(3) 産業活力を創造し多彩な魅力に出会えるまちづくり

ア 商業と福祉の連携 ☆

(産業政策課 事業費：204万円)

特設サイト「はだのにぎわい商店街」を拡充し、食料品・日用品の買い物の手助けを必要としている高齢者などに配達や出張販売サービスを行う店舗の情報を集約します。その情報を介護・福祉関係者と連携することで、消費者と商店街との接点づくりを行います。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2, 036					2, 036

イ 有害鳥獣による農作物被害対策の強化 ☆

(農業振興課 事業費：151万円)

有害鳥獣被害を減らし営農意欲と生産性の向上を図るため、ドローンにより上空から鳥獣の生息地を特定し、環境整備、防除、捕獲を効果的に組み合わせた地域の実情に即した被害対策を進めます。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1, 507					1, 507

ウ 秦野産木材の利活用 ★

(環境共生課 事業費：130 万円)

東京オリンピック・パラリンピックの選手村「ビレッジプラザ」にも使われている秦野産木材の強度や含水率などの品質調査を行い、都市圏における利用促進を図ります。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,300					1,300

(4) 豊かな感性をはぐくみ笑顔あふれるまちづくり

ア 幼児教育のあり方の検討

(教育総務課 事業費：19 万円)

幼児教育・保育の無償化に伴う園児数の動向や保護者ニーズの変化などを踏まえ、公立こども園を含めた、今後の幼児教育のあり方を検討します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
188					188

イ ICTを活用した教育の推進 ☆

(学校教育課 事業費：76 万円)

中学校の特別支援教室等へタブレット端末の配置を進めます。また、児童や生徒一人に1台の端末を揃える「GIGAスクール構想」の実現に向けて、計画を策定します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
タブレット端末の配置 756				ふるさと基金 756	

ウ 西中学校多機能型体育館のオープン

(教育総務課 事業費：8 億 2071 万円)

令和元年度から3年間の継続事業として進めている、西中学校多機能型体育館を本年9月にオープンします。また、旧体育館や西公民館の取り壊しなどの関連工事にも着手します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
820,713	65,220	46,356	457,100	ふるさと基金 5,438	246,599

エ 小・中学校トイレの洋式化・快適化の第二次整備の完了

(教育総務課)

事業費：4億4798万円うち元年度補正4億991万円、2年度予算3807万円)

小中学校のトイレ快適化整備について、4か年計画の最終年度として、洋式化と快適化工事を行います。これにより全ての小中学校で洋式の快適なトイレ整備が完了します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
トイレ快適化工事 【元年度補正】409,906	138,003		271,700		203
トイレ洋式化工事 38,070					38,070
計 447,976	138,003		271,700		38,273

オ 桜土手古墳展示館は30周年、☆**クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）は40周年**

(生涯学習課、文化振興課 事業費：2662万円)

開館30周年を迎える桜土手古墳展示館を考古専門の展示館から、総合的歴史博物館の「はだの歴史博物館（仮称）」にリニューアルします。

開館40周年を迎える「クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）」では、本市ゆかりの方々に関わっていただきながら、幅広い芸術活動を通じて「ふるさと秦野」の魅力を発信します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
桜土手古墳展示館の リニューアル 21,323				ふるさと基金 21,323	
文化芸術活動の推進 5,300					5,300
計 26,623				21,323	5,300

